

厚生文教常任委員会会議録

- 1 日 時 令和4年8月31日(水)
14時54分開会 15時07分閉会
- 2 会議場所 役場3階 第1委員会室
- 3 出席議員 委員長：口田邦男 副委員長：山下清美
委員：深沼達生、川上 均、中河つる子、高橋政悦
議長：桜井崇裕
- 4 事務局 事務局長：田本尚彦、事務局次長：川口二郎
- 5 議 件
(1) 所管事務調査について
(2) その他
- 4 会議録 別紙のとおり

委員長（口田邦男）：皆さん大変ご苦勞様。中途半端な時間にお集まりいただきありがとうございます。只今より厚生文教常任委員会を開催する。議件については所管事務調査の件である。前回、調査のまとめについてご協議いただいたが、報告書の中でもう少し付け加えたらどうかというご意見があり、今回改めてご提案申し上げるのでよろしくご検討願います。なお、文面については川上委員、高橋委員に色々と知恵をいただいて出ているので、それも付け加えて申し上げます。

（1）所管事務調査の実施について

委員長：一読願う。

（一同資料を一読）

委員長：それでは皆さんにご一読いただいたわけだが、総括の件で前回の総括をこの文書と差し替えるということをお願いしたいが、ご意見があれば出していただきたい。

川上委員：自分自身の考えだが、今までのアイスホッケーや体育協会による加盟団体の、特に少年団の研修会館の宿泊で実績をあげているという部分では、やはり併設して合宿、アイスホッケーは元々合宿の施設を望んでいたということと、今までの実績を含めたら宿泊施設も合宿施設も一緒に併設したほうがいいのではというのが自分自身の考えである。それを網羅するかどうかは別としても、ぜひそのような形のものを織り込んでほしいと思っている。

高橋委員：川上委員のいうことはわかるが、常任委員会として総括を報告するにあたり、はっきり言って我々は町民との希望とか、利用団体との話し合いを持ったわけでもなく、合宿所をどうしても作ってというのは、個人的な見解になってしまうし、そこまで報告書に盛り込むことも委員会としてはできないということで、その部分を全て排除して、実際の話、前回が一番最初の総括の中で、町民対象のこじんまりしたものでいいという意見もあったというのは、間違いなく町民の何割かの人は同じような考えだろうし、利用団体側に偏った委員がいればそっちの方を優先したくなるというのも当たり前なことだし、だから、我々常任委員会として総括で上げられる報告というのは、結果的に我々が見てきたものを伝え、こういう意見もあった、だからまだそれを結論付ける段階にはないように思うので、もっともっと町民との会話を深めてほしいというような報告までしかできないということで、こういう表現になった。そこまでしか言えないかなというところだと思う。

川上委員：実際には、具体的な中身まではここの中では表現できないだろうというのは確かにあると思う。そういう部分では、前回に比べてこの内容については理にかなっているという部分では、このような総括で、厚生文教常任委員会としてはこれでいいと思う。

中河委員：この間の文面から抜いた部分でと私は思っていたが、これでいいのではと思う。

深沼委員：前回と比べて少し文章自体も、否定するわけでもない中での文章になっているので、どうしても個人的な意見の部分は大きっぽりに出すものではないということなので、この文章でいいと思う。

山下委員：委員会としてまとめられる部分をしっかりまとめて、しっかりと議論を深めてほしいという部分が含まれているので、色んな方向性を探りながら交流人口をさらに増やせるような部分が文面にも書かれているので、この内容でよろしいと思う。

委員長：皆さんの意見を聞きましたが、だいたいはこれでいいのではないかという結論になったかと思うので、総括をこの文書に差し替えて所管事務調査の報告書としたいと思うがよろしいか。

(はいとの声あり)

委員長：ありがとう。次、その他。次回の委員会は9月7日。内容は申し出になると思う。以上であるが、その他皆さんから何かないか。

桜井議長：今、色んな物資が高くなって、住宅建てるのも坪単価がすごく高い、そういう時に今、体育館をやるべきなのかというような意見もあるのは確かであるし、今の町の計画よりも1年先延ばししてもいいから、将来に悔いのないものを作ってほしいという意見もあることは事実であるので、今回の総括には必要ないが、せっかく作るのであるから町の方にも慎重に色んな意見を聞きながら進めてもらうようにしていただきたいと思う。

委員長：その他ないか。

(なしとの声あり)

委員長：ないようであればこれで終了したい。以上で厚生文教常任委員会を終了する。

【閉会 15：07】